

令和八年度秋季特別展

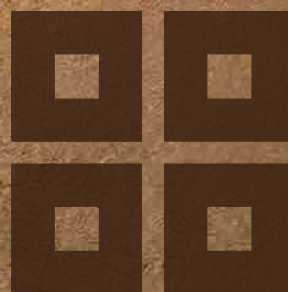


太閤の世を 生か抜いて

— 織田と京極・国替の軌跡 —



国、
替わっ展。



2026

10.3(土) - 11.29(日)



丹波市立柏原歴史民俗資料館・柏原藩陣屋跡展示室

【開館時間】10時～17時（最終入館は16時30分まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

【入館料】大人210円（150円）中学生100円（70円）小学生50円（30円）

※（ ）内は20名以上の団体料金。小学生未満とふるさと住民票提示の方は無料。
コロナカード利用可。クレジットカード・電子マネー不可、現金払いのみ。

【住所】〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 672

【アクセス】舞鶴若狭自動車道春日IC・丹南篠山口ICから車で約20分

JR 福知山線柏原駅から徒歩約8分

【主催】丹波市教育委員会、丹波市

【後援】朝日新聞神戸総局、NHK神戸放送局、株式会社東京ニュース通信社、
株式会社ワタナベエンターテインメント、神戸新聞社、丹波新聞社、毎日新聞神戸支局、
読売新聞豊岡支局、ラジオ関西

【協力】春岳院、常高寺、たつの市立龍野歴史文化資料館、丹波市立植野記念美術館、
天童市教育委員会、丸亀市立資料館

【問合せ先】丹波市教育委員会 社会教育・文化財課

〒669-3198 兵庫県丹波市山南町谷川 1110

☎ 0795-70-0819 ✉ bunka@city.tamba.lg.jp



上：織田信雄像（丹波市教育委員会蔵）

中：京極高次像（丸亀市立資料館蔵）

下：京極忠高像（丸亀市立資料館蔵）

太閤の世を 生き抜いて

— 織田と京極・国替の軌跡 —

国替

それは藩を持つ大名が、様々な事情で領地を移り替えられること。

柏原藩織田家と丸亀藩京極家も江戸時代、国替によって領地が移り変わった歴史を持っています。

なぜ、国替は行われたのか。その歴史的背景を紐解いていくとともに、度重なる変化の中でも守り伝えられてきた両家の伝来品を柏原歴史民俗資料館にて展示・紹介します。

そして、江戸時代以前、豊臣秀吉とその弟・秀長が活躍した時代に焦点を当てます。織田信長亡き後、天下統一を目指した「豊臣兄弟」を前に、それぞれの藩祖である織田信雄と京極高次・忠高らは、いかにして激動の時代を生き抜いたのか。関連資料やゆかりの城を解説しながら、歴史の大きな流れの裏で交錯した彼らの思惑・戦略を、柏原藩陣屋跡の展示室にて紹介します。



関連イベント

10月10日(土)

担当学芸員によるギャラリートーク

【時間】13時30分～14時30分

【会場】柏原歴史民俗資料館・柏原陣屋跡展示室

【参加費】無料・申込不要（別途入館料必要）

11月14日(土)

秋季特別展関連歴史講座

『国替えと陣屋を構えた大名たち

— 織田と京極を中心に —

【講師】曾根 泰斗（丹波市教育委員会 学芸員）

【会場】柏原自治会館（丹波市柏原町柏原525-1）

【定員】50名程度 【参加費】無料・申込不要

同時開催

ミニ企画展

秀吉の時代を生き延びた
直正の子孫たち

丹波市立春日歴史民俗資料館

黒井城主・荻野直正の子孫たちについてのミニ企画展を同時開催！
黒井城落城後、直正の子孫たちは戦乱の時代をどう生き延びたのか。
「赤井先祖細記」「赤井家譜」などの関連文書などから紐解きます。

※会期、休館日、入館料は柏原歴史民俗資料館と同じ

【住所】〒669-4141 兵庫県丹波市春日町黒井496-2

【アクセス】JR 福知山線黒井駅から徒歩約10分

・舞鶴若狭自動車道春日ICから車で約5分

数量限定

特別展オリジナルアイテム

手元に残したくなる！
活版印刷で仕上げた特別入場券

丹波市観光アンバサダーからのメッセージ付
オリジナルチケットホルダー

※詳細は特別展特設サイト（下左側 QR コード）よりご確認ください。



柏原藩陣屋跡

丹波市立
柏原歴史民俗資料館

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原672

舞鶴若狭自動車道春日IC・丹南篠山口ICから車で約20分

JR 福知山線柏原駅から徒歩約8分

①安土古城図 ②織田出雲守 家之紋、替紋（丹波市教育委員会蔵）③播磨立野城図（たつの市立龍野歴史文化資料館蔵）

④讃岐国絵図（丸亀市立資料館蔵）⑤天大山罫 ⑥天国長刀 ⑦ニッカリ青江復元刀（丸亀市立資料館蔵）



特別展特設 HP



TAMBA HISTORY MUSEUM